

小規模多機能型居宅介護施設 地域交流施設

について



猿払村役場 企画政策課

小規模多機能型居宅介護施設を建設するに至った経緯

現在の猿払村在宅サービス

社会福祉法人

(対象: 介護保険サービス利用者)

- 短期入所生活介護事業所
⇒ショートステイ

短期宿泊

- デイサービスセンター
⇒通所介護

デイサービス

- 訪問介護事業所
⇒訪問介護

ホームヘルプ

- 居宅介護支援事業所
⇒ケアマネジメント

ケアプランの立案
介護保険サービスの連絡・調整

国民健康保険病院

(対象: 介護保険サービス利用者)

- 居宅療養管理指導 (訪問医療)

通院が困難な人を訪問し、
療養上の管理や指導、助言

- 訪問看護

看護師等が訪問し、健康チェック、療養上の世話
または必要な診療の補助を実施

猿払村

(対象: 在宅サービスを要する人)

《介護予防・生活支援事業》

- 配食サービス

夕食の配食

- 生活管理指導員派遣事業
⇒自立支援事業

介保サービス利用に至らない状態だが、
自宅での家事援助や介助が必要な人への
ホームヘルプサービス

- 生活管理指導短期宿泊事業

介保サービス利用に至らない状態だが、
家族や緊急時等の理由により短期宿泊が
必要な人への宿泊サービス

- 訪問理美容サービス

外出が困難な人へ理美容業社へ委託を受け、
訪問し理美容サービスを提供

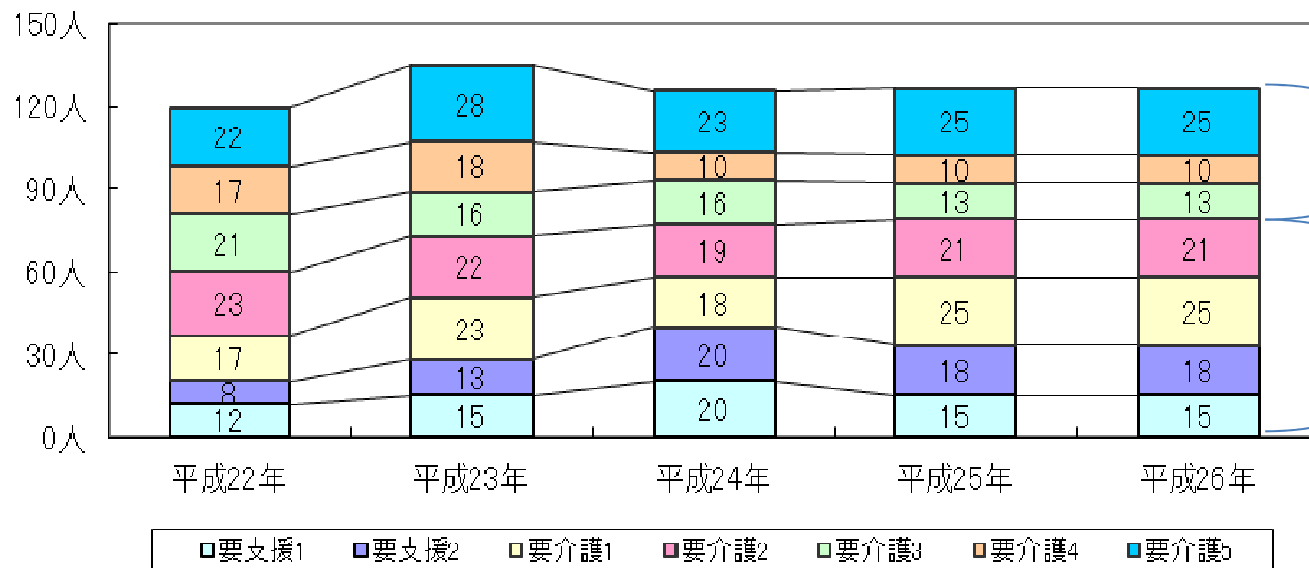
- 外出支援サービス (定期受診)

外出が困難な人へ介助付きで病院までの受診送迎

これらのサービス提供により
 要介護3以上の高齢者が減少
 一方、軽度者の割合が増加
 ⇒80名の軽度者を支える体制が必要

既存サービスに加えた
 新たな体制が必要

猿払村の要介護度別高齢者の状況



平成26年48名
 要介護3以上減
 5年間で12名減

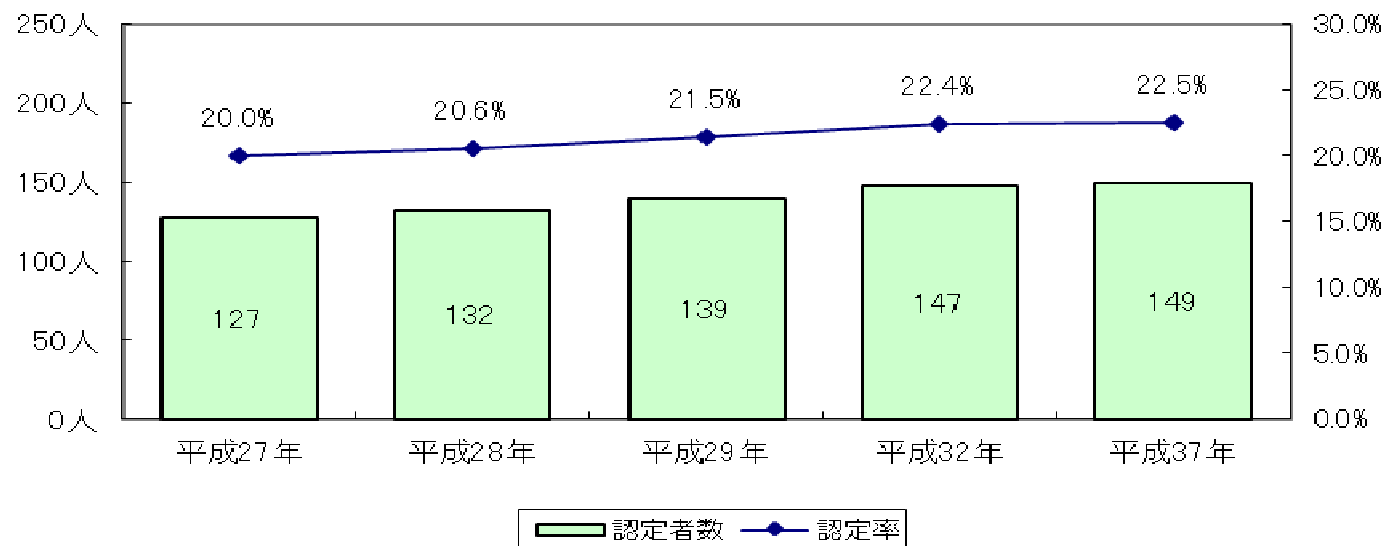
平成26年79名
 要介護2以下増
 5年間で19名増

要介護認定者の将来推計

【予測】
10年後
25名増

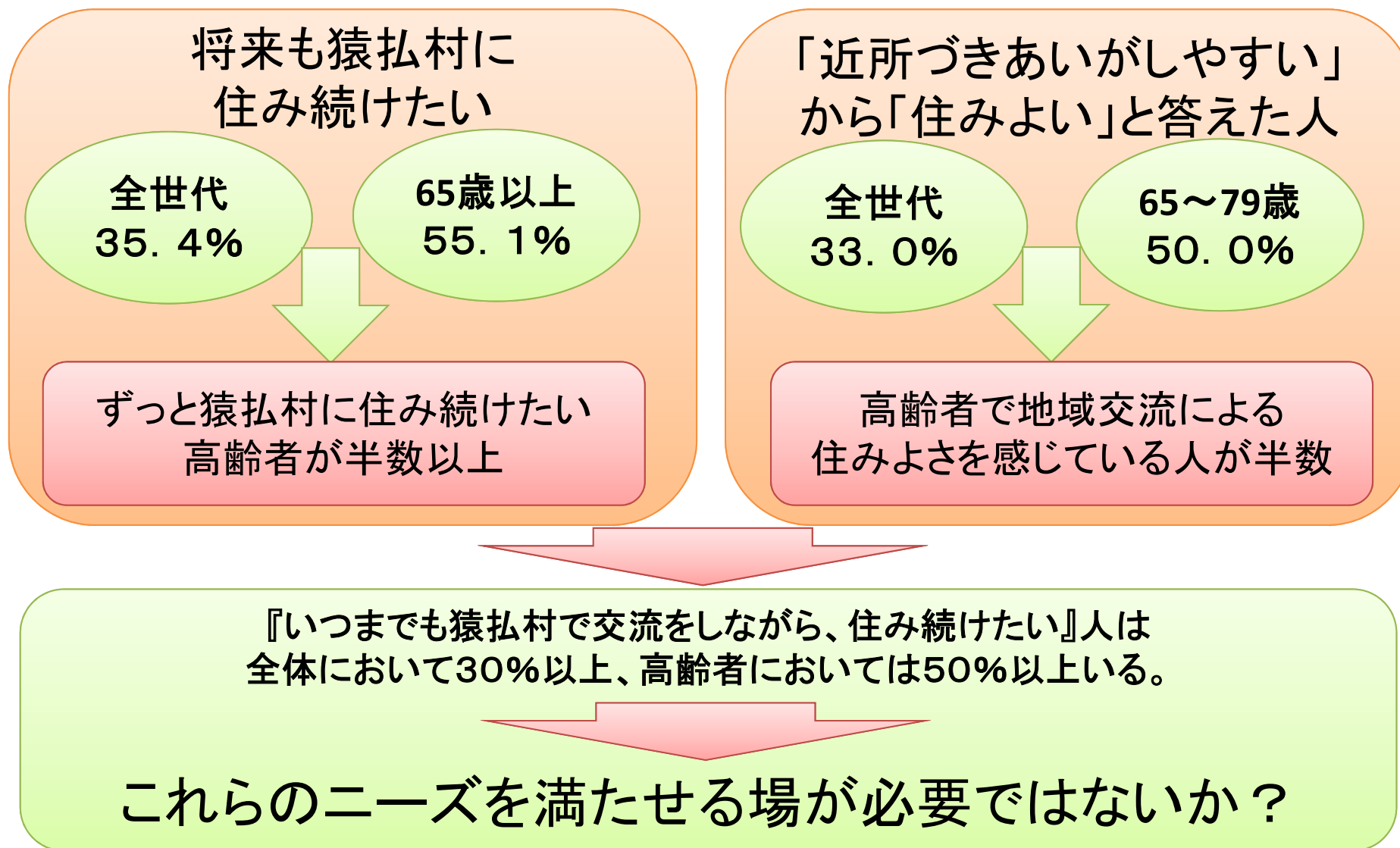
	平成27年	平成28年	平成29年	平成32年	平成37年
65歳以上人口	636	642	648	655	661
認定者数	127	132	139	147	149
認定率	20.0%	20.6%	21.5%	22.4%	22.5%

【特徴】
10年後、合計150名の
介護保険サービス利用者の予測



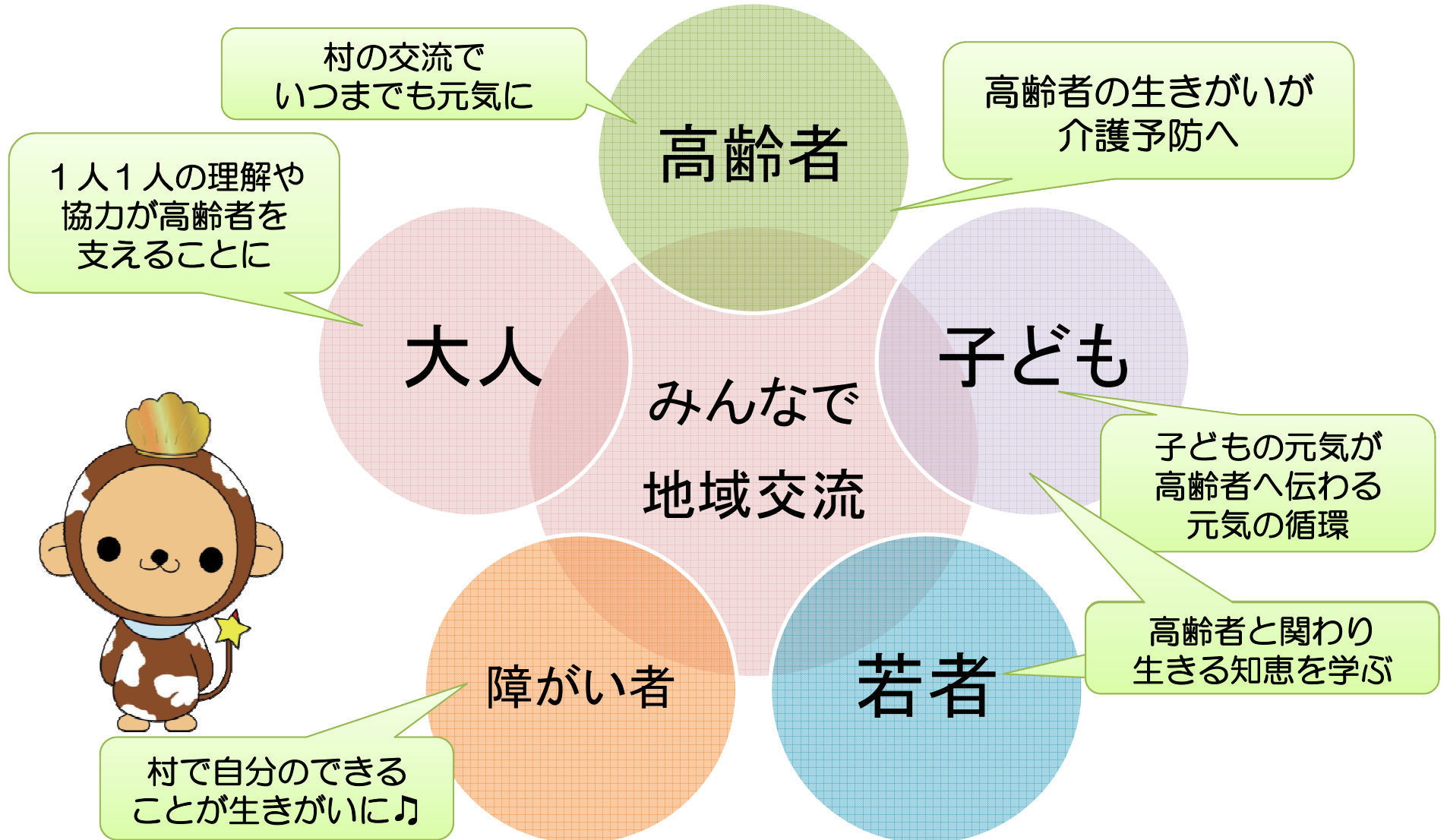
地域交流施設を建設するに至った経緯

実際の猿払村民の声



【地域交流施設】

住民の活躍する場が介護予防の強化に



福祉の専門職がサポート

2つの施設で相乗効果

小規模多機能型居宅介護施設
認知症ケアと介護予防



地域交流施設
みんなでにぎわい・安心を感じる

あわせることで

**いつまでも自分らしい
生活を送れます**

お年寄りにとって社会参加が増えることは、生きがいとなり、いつまでもいきいき自分らしい生活につながります。

**移住者とともに
新たな交流を行います**

今後、猿払村には移住施策による移住者が増えることが見込まれます。これまで村民が育んできた関わりに、移住者が加わることによって、外からの視点や発想で新たな交流や生きがい生まれます。

思いやりが育まれます

手助けを必要とするお年寄りの姿が目に入ると、子どもや大人は自然に支えようとする「気付き」が生まれ、思いやりのある心が育まれます。

支え合い体制が充実します

さまざまな交流する企画で人が集い、村にとって必要なものをみんなで見つけ、日々の暮らしの中で支え合う体制がより充実します。

建設場所を選んだ理由

昔は賑わいがあった商店街通りも現在は8件の店舗しかなく、土日祝祭日は閉店している。9月から旧農協店舗にQマートが参入したため、交通手段が限定される村民は買い物の手段を確保することができた。しかしながら、夕方になると商店街通りは閑散としている事は変わらず、バスターミナルに降車する村民がいる程度。

地域交流施設を通じて、様々な村民が行き来することが、バスターミナル付近から商店街通りまでの、賑わいを取り戻すことも目的としている。また、公共交通機関の終着地点でもある、バスターミナル横に施設を建設することで村内各地域からの利用がしやすい場所となっている。



バスターミナル

建設予定地

商

店

街

通

Qマート

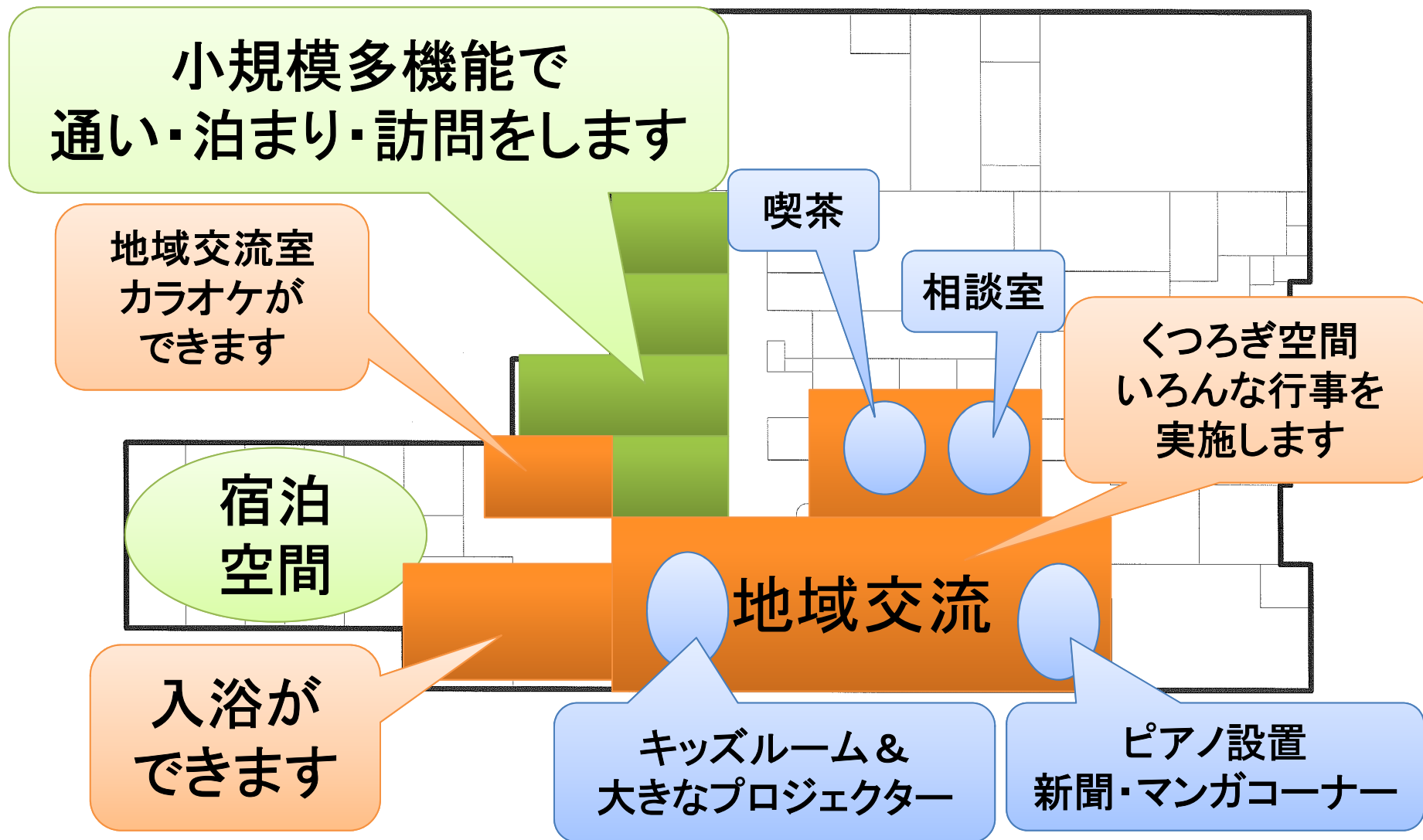
消防署

猿払村役場



- 图例
- 裙楼一层
 - 裙楼二层
 - 裙楼三层

建物の空間について



地域交流事業の内容

いつでも利用することができる企画。

事業名	内 容
カラオケ広場	地域交流室でカラオケができます。
ふれあい喫茶	平日の10時から15時まで喫茶を営業します。コーヒーやお茶、お菓子、パンなどを販売します。
茶話空間	ふれあい喫茶のコーヒーやお茶を飲みながら、好きな時間に地域交流の大ホールでおしゃべりや交流ができます。友達同士などご利用ください。
ピアノの設置	村ではたくさんの子どものがピアノを習っています。いつでも、ピアノを弾くことができ、子どもからお年寄りまでが音楽を通して交流できます。
生きがい農園	友達同士でグループを作り、地域交流施設の外庭にある農園を使って野菜を作る企画です。作った野菜は、行事での販売や地域交流施設での食事等に使われ、活動している人たちの生きがいにつながっていきます。
キッズコーナー	おもちゃはもちろん、子どもが自由に遊べる空間があります。親子でくつろぎのひとときに、お過ごしください。
会議室	地域交流室を会議室として、利用することができます。開館時間以外で利用希望がある場合は、ご相談ください。

年間で定期的に行う企画。

事業名	内 容
消防による講習	「AED講習」や「命の大切さ講習」など消防職員による講習を年数回行います。みなさんで命の大切さについて学びましょう。
子育て支援センター事業	子育て支援センターで行われている事業のうち回数を設けて、地域交流施設でも行います。子どもからお年寄りまでが触れ合える機会を実現しましょう。（おはなし広場、ちびっこ広場、子育て講座など）

曜日ごとに行う企画

事業名	曜日	内容
映画鑑賞会	第1・3月曜日	好きな映画や気になる映画を見て、時間に余裕がある方は、その後この映画の話題をきっかけに交流する時間をお楽しみください。
機能訓練教室	火曜日	機能訓練教室を行い、運動機能の改善が必要なお年寄りに理学療法士が個別プログラムを作成し、運動を行います。
介護予防教室	隔週水曜日	介護予防教室を行い、スタッフのサポートにより外出機会が必要なお年寄りがレクリエーションなどさまざまな活動を行います
学習広場	月曜日 水曜日 金曜日	学校が終わり帰宅した後に地域交流施設で勉強することが出来ます。 友達と一緒に勉強ができ、休憩時間には交流施設に通う人とも交流が出来ます。
遊び広場	火曜日 木曜日	学校が終わり帰宅した後に遊びにくることができます。「●●おじいちゃんいるかも？」そんな想いでお越しいただき、子どもにとって居心地の良い空間で遊べます。
麻雀・将棋・囲碁	水曜日	曜日と時間を固定して、同じ趣味をもつ人が集まり「毎週水曜日は麻雀をしにいこう」となるような企画です。 共通の趣味を持った人同士でお楽しみください。
絵画・手芸	金曜日	
しゃべり場	金曜日	好きなことや気になることについて、「お題」を設けて自由に話楽しく交流する企画です。 その「お題」については、事前に広報等でお知らせします。
ふれあいサロン	金曜日	お年寄りやその地区に住む方が気軽に集まり、好きな活動をする「サロン」を地域交流施設でもできます。 また、地区のサロンと合同で行う事も出来ます。
ピアノエリア	毎日	経験者、未経験者問わずピアノに触れる事ができます。 また村民ピアノコンサートやピアノリサイタルなどを開催します。
昔遊び&伝承あそび	土曜日 日曜日 祝日	こどもをはじめとする村民とお年寄りが駒や竹とんぼなどの昔遊びを一緒にする企画であり、その時代の知恵を学ぶ環境を大切にします。
協働イベント	土曜日 日曜日 祝日	観光協会や商工会青年部などと一緒に様々なイベントを行い、日頃1人では外出できないお年寄りも、村民みんなでイベントを楽しみます。

1週間で行う交流企画のイメージ

下の表は地域交流施設で行う企画の1週間をイメージしたスケジュールです。
1か月単位でスケジュールのご案内をいたします。

場所	月	火	水	木	金	土	日
大ホール	映画鑑賞会 学習広場	機能訓練 遊び広場	介護予防教室 学習広場	フリー企画 遊び広場	ふれあい サロン 学習広場	協働イベント 昔遊び・伝承遊び 等	
	麻雀、将棋、囲碁、絵画、手芸、茶話会、 しゃべり場、ピアノ空間、読書空間、キッズコーナー						
地域交流室	カラオケ広場						
喫茶	ふれあい喫茶						
外庭	生きがい農園(グループの希望日に実施)						

地域交流施設で行うサービス(65歳以上対象)

【入浴】

- ①料金 200円／日
- ②時間 10:00～14:00
- ③実施 月～金曜日
- ④体制 10時から12時と13時から15時 ※時間帯で男女交代

【食事】

- ①料金 1食 300円
- ②時間 昼食のみ
- ③実施 月～金曜日
- ④体制 一日限定30食(基本予約制)

【宿泊】

- ①料金 1泊 3,000円
- ②時間 17:00～8:00
- ③実施 毎日
- ④体制 家族の事情により、お年寄りが1人で留守をするには不安な時や緊急対応にて一時的な宿泊が必要な時。

建設事業費(予定額)

工事名	金額	財源	金額
基本設計業務委託	540,000円	介護サービス提供基盤等整備事業費交付金	34,560,000円
実施設計業務委託	21,168,000円	介護施設等の施設開設準備経費等支援事業交付金	5,589,000円
建設用地調査設計業務委託	5,702,400円	地域づくり総合交付金(福祉振興・介護保険基盤整備分)	14,000,000円
用地造成工事	8,251,200円	再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業補助金	67,797,000円
建築主体工事	376,131,600円	過疎債	713,300,000円
電気設備工事	71,355,600円	一般財源	4,920,000円
機械設備工事	155,077,200円	※財源は予定額であり今後変更の可能性あり	
地中熱設備工事	101,680,000円		
工事監理業務委託	5,940,000円		
熱交換能力応答試験調査業務委託	4,320,000円		
外構工事	30,000,000円		
備品購入	60,000,000円		
合計	840,166,000円		

今後の予定



障がい者支援ハウス(仮称)

生活支援ハウス(仮称)

小規模多機能型居宅介護施設
地域交流施設

将来予想フロー

